

会 議 名	平成26年第2回愛荘町観光振興計画策定委員会 会議結果（概要）
開 催 日 時	平成26年9月22日（月）9：30～12：00
開 催 場 所	秦荘庁舎 2階 大会議室
出 席 者	（識見者）谷口浩志、田淵正人 （観光関係者）竹中仁美、村西和雄、岡部正治、西澤一弘、野村仁美、 水野裕文、丸橋嘉雄 （推薦）川井健司、関りん、宇山弘子 （行政関係者）北川元洋 以上委員13名
欠 席 者	（推薦）藤居鐵也 （行政関係者）林定信、青木清司 以上委員3名
事 務 局	商工観光課長 廣瀬猛、課長補佐 西川傳和、理事員 細江新市
傍 聴 者	0人
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体等における観光に関する取組状況について</li> <li>・第1回策定委員会の提出案件等について意見交換</li> <li>・策定委員会およびワークショップの持ち方について</li> </ul>
審 議 内 容	別紙のとおり
問い合わせ先	商工観光課 担当 西川 連絡先 TEL0749-37-8057

## 【別紙】

### (1) 各団体等の観光に対する取組状況について

委員名簿の順番に、現状の取組状況などについて報告をしていただいた。

#### ○報告内容における谷口委員長のまとめ

かなり先進的に取り組んでおられる所もありますし、また、これまでの歴史の中で培って来られた観光への取り組みという様々な立場があつて、なかなか難しい所もあると思いますが、目的が何かということが大事ですね。

今もう一度しっかりと見直しておく必要があると思います。

何故観光事業をやるかということ。最終的にはその地域がいかに潤うか、あるいはその地域にとって経済的な面というのは、もちろん重要なものかもしれませんが、決してそれだけでないですね。

そこに観光客が多く訪れてくれる、そこをみんなが素晴らしい所だなと言ってくれることが大事なのです。それによってそこに住んでいる人たちの誇りが生まれてきたりとか、あるいはもちろん経済的なこともあるけれども、交通の便がよくなったり、生活に必要なものが揃っていったり、このようなことが、二次的に起こってくる様々なことの方がほんとはすごく大事だと思います。物を売って儲けることだけが観光ではないと、まさにそういうことだと思うのです。

その地域がいかに人が足を運んでくれるか、そのことに尽きると思います。

そして、それは誰のためでもない自分たちのためだと。観光業に携わっていない人にとっても観光というのは実はその町の潤いにつながっていくために必要なことなのだと、ということをしつかりと理解してもらうことも必要なかなというふうに思います。

#### ○その他の意見に対する考え方について

実は民間の方々がこういうことをやっていきたいと言った時に、行政がどこまで協力できるかということなのです。観光事業というのは実は行政主体ではなかなか動きません。民間、特に観光事業者、それに関係する様々な団体の動きを行政がどう支援していけるかというところで、これ実は最近よく使われている協働という言葉の一番基本的な部分なのですが、行政がやろうとしていることに協力してもらうのがこれまでの体制でして、そうではなくて、民間がやろうとしていること、ただそれには法律の問題があつたりとか、様々な制度の問題であつたりとかということで、制限がどうしても出てくるのです。

それを本来あるべき本来の目的のために、これが絶対に必要だということであれば、行政がそれに対してどこまで支援することができるかというのが、これからの計画のあり方であろうと思います。それをまず、腹をくくっていただいて、行政の方には、民間の方々はこれまでと同じように行政のやっていることを手伝っているというのではなくて、自分たちが主体なんだという思いを持ってこの計画の中身の方、この最初のところはあくまでも行政の計画ですから、行政の方針というものを、もちろん民間の方の意をくんでということになりますけれども、具体的な行動指針であるとか戦略計画などについては、できれば民間の方針っていうものが、そのままそこに盛り込めるような形にしてもらえると、すぐにでも動き出すのではないかというようなことを思っています。

### (2) 次回、策定委員会委員と観光に関心をお持ちの町民方とのワークショップを開催予定であり、その開催日について。

第3回開催は、平成26年10月28日(火)午後7時からと決定。

以上